

SOMPO好利回りCBファンド 2023-09

(為替ヘッジあり・限定追加型) / (為替ヘッジなし・限定追加型)

追加型投信 / 内外 / その他資産(転換社債)



Convertible Bond

当ファンドは、主として債券等の値動きのある証券等に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。
したがって、元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失が生じ、投資元本を割り込むことがあります。

お申込みの際は必ず「投資信託説明書(交付目論見書)および目論見書補完書面」をよくお読みください。

投資信託説明書(交付目論見書)のご提供・お申込みは



あおぞら銀行

AOZORA

株式会社あおぞら銀行

登録金融機関 関東財務局長(登金)第8号

加入協会: 日本証券業協会 / 一般社団法人金融先物取引業協会

設定・運用は



SOMPOアセットマネジメント

安心・安全・健康のテーマパーク

SOMPOアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第351号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会



Convertible Bond

ご投資家の皆さまへ

当ファンドは、日本を含む先進国の転換社債(CB)に投資を行います。
CBは発行時に決められた転換価格で株式に転換できる権利が付与された社債で、利金が支払われるとともに満期時には額面金額で償還されます。

当ファンドでは、株価が転換価格を下回るなど債券の性質が強く相対的に高い利回りとなっているCBに投資を行うとともに、原則として満期まで保有することで、インカム収益を確保しつつ安定したパフォーマンスの実現をめざします。

運用に際しては、債券アクティブ運用に強みを持つRBCグローバル・アセット・マネジメント(UK)リミテッドのノウハウを活用します。

SOMPOアセットマネジメント

※当資料では、SOMPO好利回りCBファンド2023-09(為替ヘッジあり・限定追加型)を(為替ヘッジあり)、SOMPO好利回りCBファンド2023-09(為替ヘッジなし・限定追加型)を(為替ヘッジなし)ということがあります。

※また、これらを総称して「当ファンド」、各々を「各ファンド」ということがあります。

※以下、RBCグローバル・アセット・マネジメント(UK)リミテッドを「RBCグローバル・アセット・マネジメント」ということがあります。

当ファンドのポイント

1 先進国の好利回りCBに投資

- 転換社債 (CB) とは、一般的に債券と株式の双方の特性をあわせ持つという特徴があります。
- 当ファンドはCBの債券としての特性に着目し、相対的に高い利回りのCBに投資し、安定した収益の確保をめざします。

2 約4年3ヵ月以内に償還するCBを持ち切り

- 原則として、信託期間 (約4年3ヵ月) 内に償還を迎えるCB等に投資し、償還まで保有する「持ち切り運用」を基本戦略とすることで、ファンド償還時における金利変動リスクの低減を図ります。

3 期間固定の為替ヘッジ ((為替ヘッジあり)のみ)

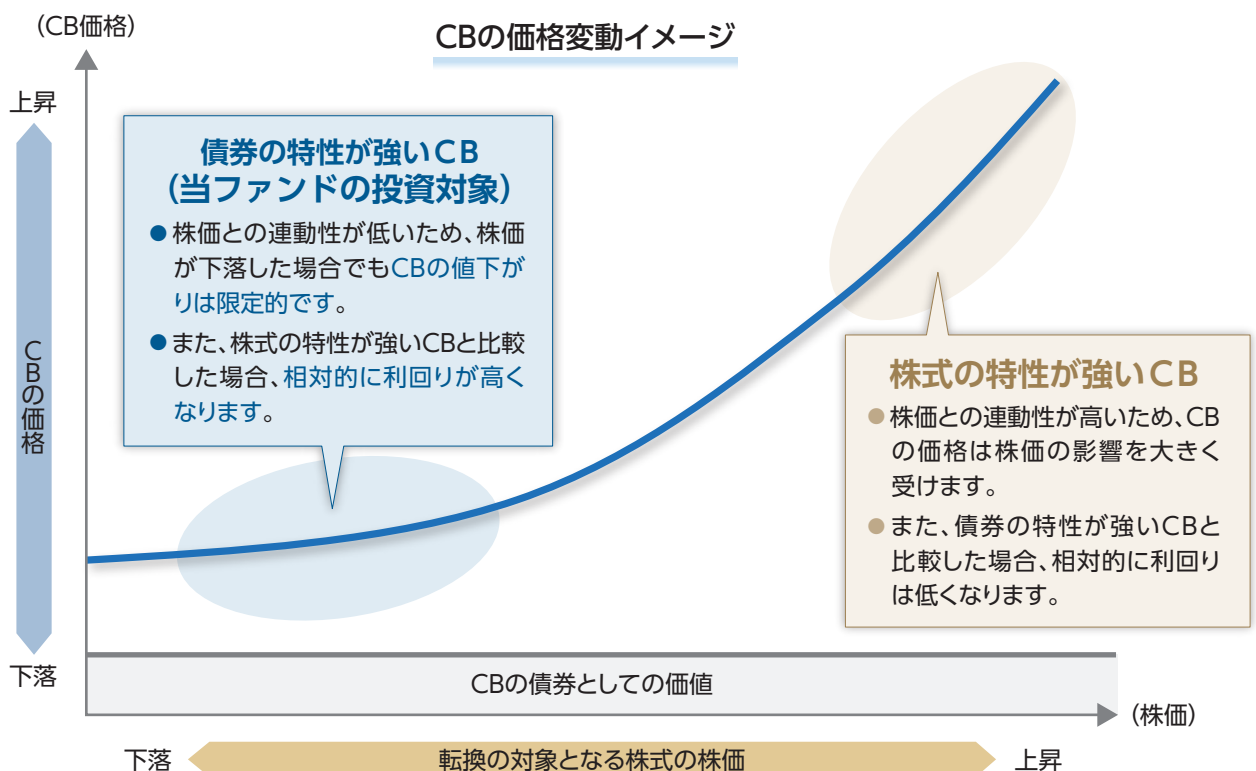
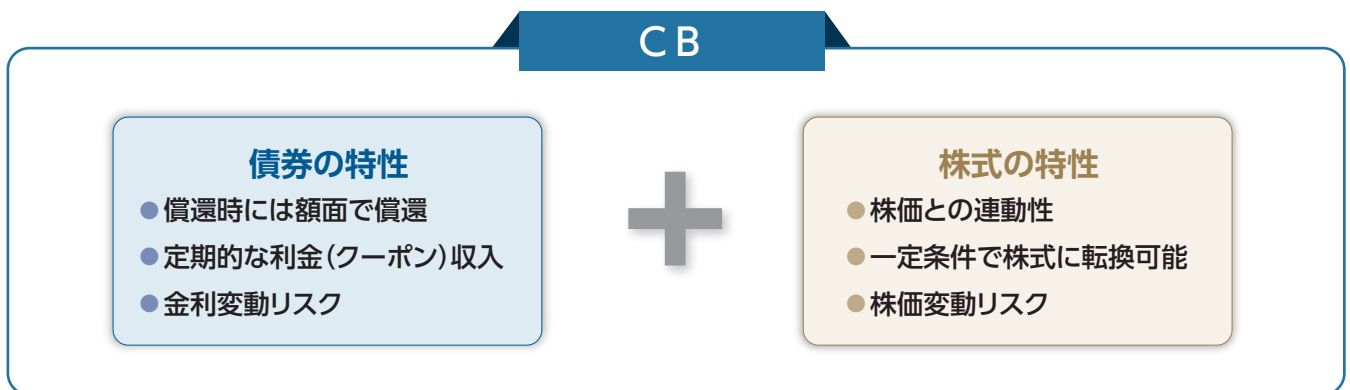
- (為替ヘッジあり) は為替ヘッジを行うことで、為替変動リスクの抑制をめざします。
- 信託期間に応じた長期間の為替ヘッジを行うことで、為替ヘッジコストの変動による影響を抑制することをめざします。

※ 為替変動リスクおよび為替ヘッジコストの変動リスクを完全に排除できるものではありません。

転換社債(CB)とは

- 転換社債(CB:Convertible Bond)とは、一定の条件で株式に転換できる権利のついた社債で、一般的に、**債券と株式の双方の特性をあわせ持つ**という特徴があります。
- 当ファンドではCBの債券としての特性に着目し、相対的に高い利回りのCBに投資することで**安定した収益の確保**をめざします。

CBの特徴



※ 上記はCBの値動きに関する一般的なイメージであり、すべてのCBについてあてはまるものではありません。また、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

※ CBの債券としての価値は市場金利や信用リスクの変化により変動するため一定ではありません。

※ クーポンが0%のCBに投資する場合もあるため、必ずしも利金を受け取れるとは限りません。

※ 発行体の信用状況等によっては、利金を受け取ることができない場合や額面で償還されない場合があります。

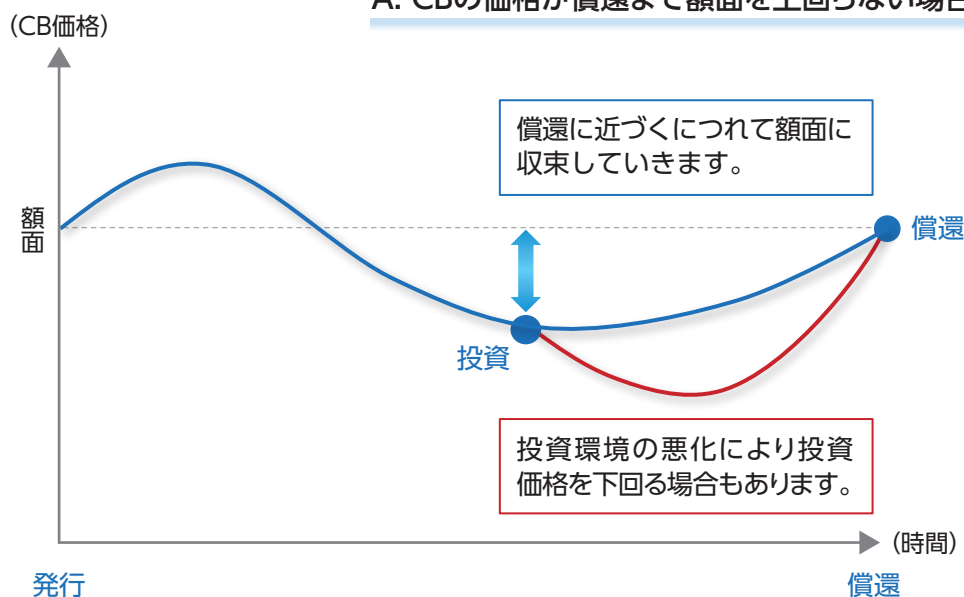
※ 銘柄の発行条件によっては、額面相当額の株式で償還される場合があります。

CBの価格変動イメージ

- 投資開始後の市場環境の変化等によりCBの値動きは異なります。
- 一般的に、CBが償還まで額面を上回らない場合でも、発行体が債務不履行等にならない限りCBは償還時に額面で償還されます。また、償還前に額面を超えて上昇した場合には、償還前に売却し利益を確保することも可能です。

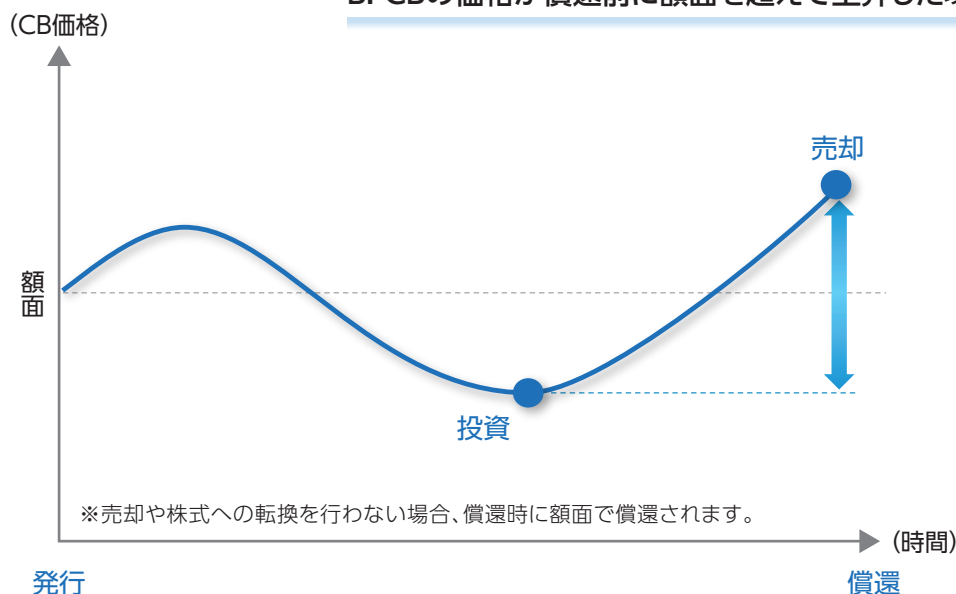
CBの償還までの価格変動イメージ

A. CBの価格が償還まで額面を上回らない場合



- CBの発行体が債務不履行等にならない限り、償還時に額面で償還されます。
- 投資時点の価格と額面との差額および、期中に獲得した利金が投資成果となります。

B. CBの価格が償還前に額面を超えて上昇した場合



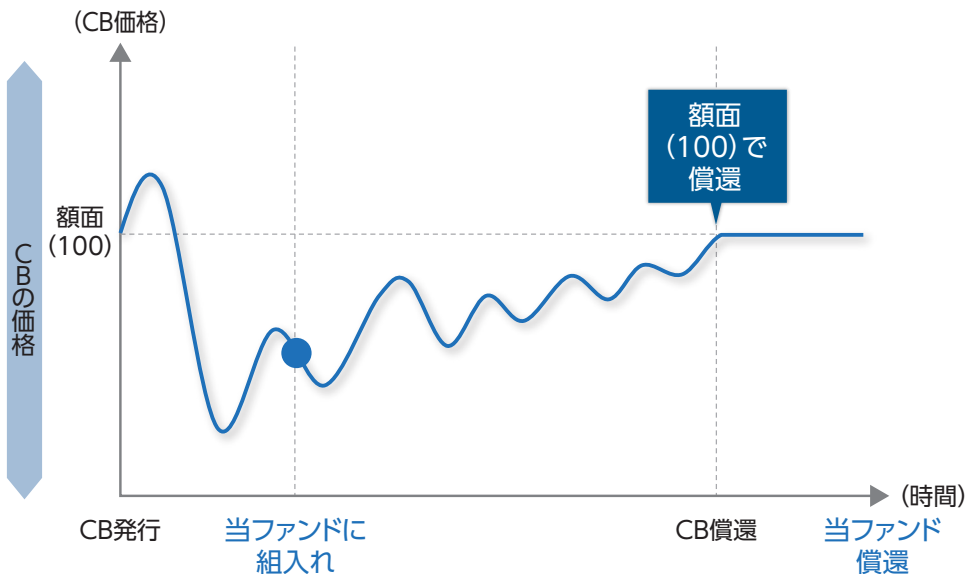
- CBの価格が償還前に額面を超えて上昇した場合、償還前に売却し利益を確保することも可能です。
- 売却した場合は、投資時点の価格と売却時の価格との差額および、期中に獲得した利金が投資成果となります。

※当ファンドは原則として償還まで保有しますが、償還前に売却する場合もあります。
※発行体の信用状況等によっては、利金を受け取ることができない場合や額面で償還されない場合があります。
※クーポンが0%のCBに投資する場合もあるため、必ずしも利金を受け取れるとは限りません。
※銘柄の発行条件によっては、額面相当額の株式で償還される場合があります。
※上記はイメージであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

「持ち切り運用」について

- 当ファンドでは原則として、信託期間（約4年3ヵ月）内に償還を迎えるCB等に投資し、償還まで保有する「持ち切り運用」を基本戦略とすることで、ファンド償還時における金利変動リスクの低減を図ります。
- CBの価格は償還に近づくにつれて額面に収束し、安定する傾向があるため、償還まで保有することにより、保有期間中の価格変動にかかわらずリターンを確保することが期待できます。

組入れたCBの価格変動イメージ

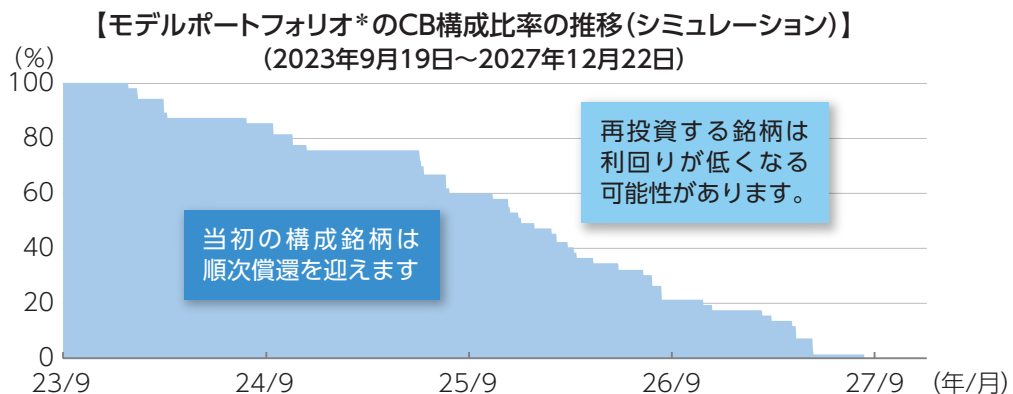


- CBの発行体が債務不履行等になった場合、額面で償還されないことがあります。
- 転換対象株式の株価が上昇したことによりCB価格が上昇した場合、償還前に売却することがあります。この場合、組入時の利回りに応じた収益を上回る運用成果が期待できます。
- なお、原則としてCBの株式への転換は行わない方針です。

※上記はイメージであり当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
※市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

(ご参考) 償還後の再投資について

- 組入れたCBは当ファンドの信託期間内に順次償還を迎えるため、償還金等は、原則として信託期間内に償還を迎えるCBに再投資します。
- 市況動向や残存期間等によっては、CBに再投資できないことがあります。その場合は信託期間内に償還を迎えるCB以外の債券や短期金融商品等に投資します。
- 再投資する銘柄は当ファンドの設定当初に投資したCBに比べ利回りが低い可能性があるため、**当ファンドの償還が近づくにつれ利回り水準が低下する場合があります。**



※プットオプション付のCBはオプションの権利行使日を償還日として算出しています。

*モデルポートフォリオの詳細はP7をご参照ください。

出所：RBCグローバル・アセット・マネジメント

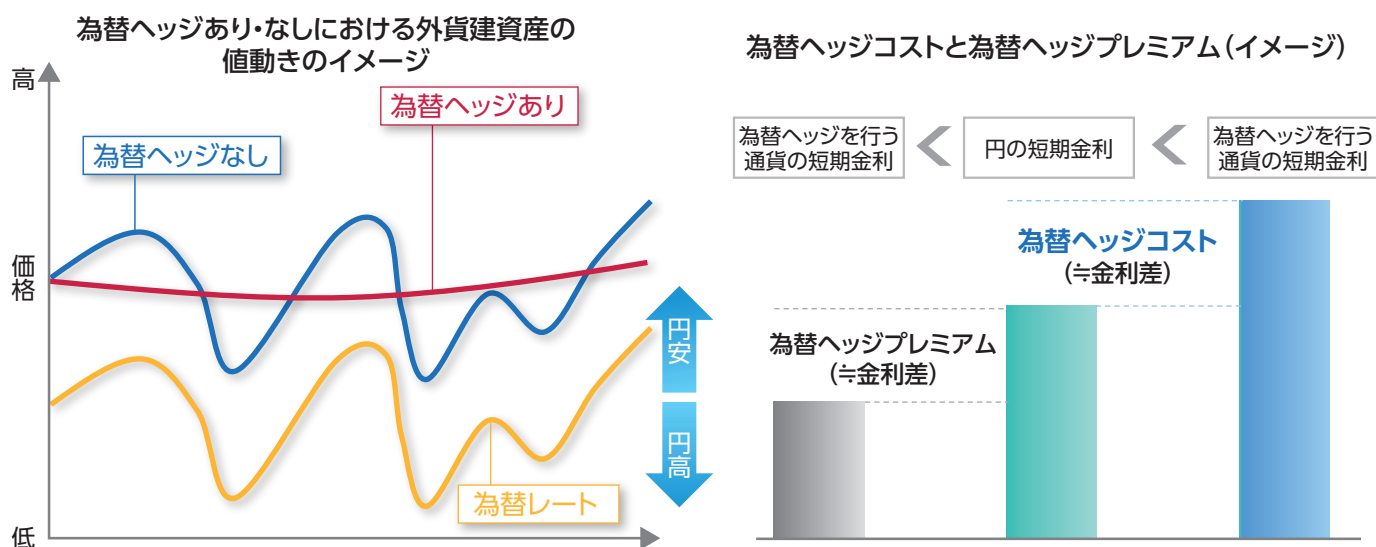
※上記はシミュレーションであり当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

期間固定の為替ヘッジについて

- (為替ヘッジあり)は、約4年3ヵ月の期間固定の対円での為替ヘッジを行うことで、為替変動リスクおよび為替ヘッジコストの変動リスクの抑制をめざします。

為替ヘッジとは

- 為替ヘッジとは、為替予約などを用いて将来の為替変動によるリスクを低減する取引です。
- 対円での為替ヘッジを行った場合、円安時の為替差益が享受できない代わりに、円高時の為替差損を抑制する効果が期待されます。
- 一般的に円金利が為替ヘッジを行う通貨の金利より低い場合には金利差相当分の為替ヘッジコストが、逆の場合は為替ヘッジプレミアムが発生します。

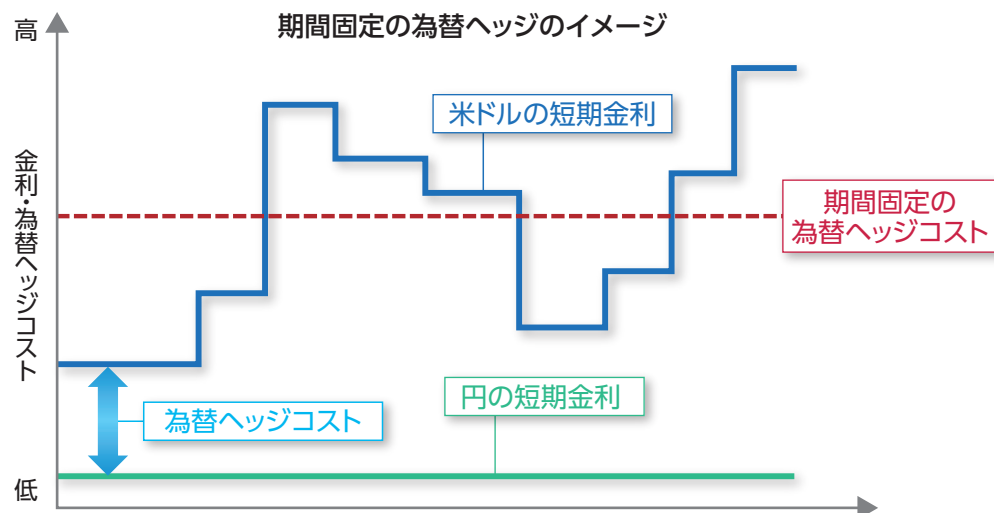


※上記はイメージであり当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

※市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

期間固定の為替ヘッジの目的

- (為替ヘッジあり)では対円で信託期間に応じた長期間の為替ヘッジを行うことで、為替ヘッジコストの変動による影響を抑制することをめざします。



- 短期間の為替ヘッジを繰り返す場合、金利差の変動等により為替ヘッジコストも変動します。
- 長期間の為替ヘッジにより、為替ヘッジコストの変動による影響を抑制する効果が期待できます。

※ 為替変動リスクおよび為替ヘッジコストの変動リスクを完全に排除できるものではありません。

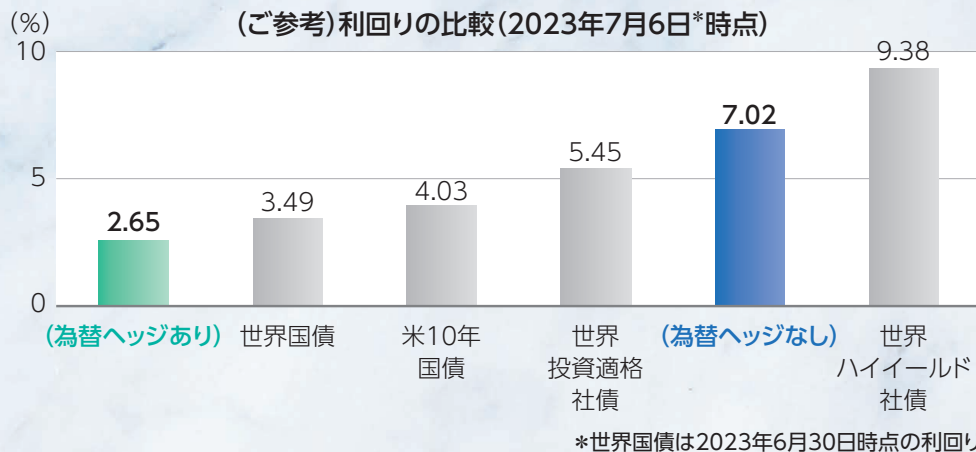
※ (為替ヘッジなし)は原則として、対円での為替ヘッジは行いません。米ドル建て以外の転換社債に投資を行う場合は、原則として、対米ドルでの為替予約取引を行うため、米ドルと円との間の為替変動の影響を受けます。

モデルポートフォリオ①

下記は2023年7月6日時点のモデルポートフォリオであり、実際のポートフォリオを表すものではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

ポートフォリオ特性

銘柄数	41
平均格付け	BBB-
平均残存年数 (2023年9月19日を起点として算出)	2.20年
最終利回り ((為替ヘッジなし)、米ドル建て)	7.02%
想定為替ヘッジコスト (2023年7月6日時点の想定値)	4.37%
最終利回り ((為替ヘッジあり)、想定為替ヘッジコスト控除後)	2.65%



最終利回りについてご留意いただきたい点

- 上記の最終利回りは、モデルポートフォリオを構成する各CBを株式に転換せず、償還まで保有した場合の利回りを加重平均して算出しています。
- 組入れたCBは、当ファンドの信託期間内に順次償還を迎えるため、**上記の最終利回りが当ファンドの信託期間中を通して得られるわけではありません。**
- CBの償還金等については、原則として信託期間内に償還を迎えるCBに再投資しますが、**再投資するCBは設定当初に投資したCBに比べ利回りが低い可能性があります。**
- また、市況動向や残存期間等によっては、CBに再投資できないことがあります。その場合は信託期間内に償還を迎えるCB以外の債券や短期金融商品等に投資しますが、**再投資する銘柄は設定当初に投資したCBに比べ利回りが低い可能性があります。**
- その結果、**当ファンドの償還が近づくにつれ利回り水準が低下する場合があります。**

※世界国債はFTSE世界国債インデックス、世界投資適格社債はブルームバーク世界投資適格債券指数、世界ハイイールド社債はブルームバーク世界ハイイールド債券指数。

※平均格付けは基準日時点のモデルポートフォリオを構成するCBに係る信用格付け(S&P、Moody'sのうち低い方の格付け)、外部格付けが付与されていない場合はRBCグローバル・アセット・マネジメントが独自に判断した格付けを加重平均したものであり、当該ポートフォリオ自体の信用格付けではありません。

※平均残存年数は、当ファンドの設定日(2023年9月19日)を起点に算出しています。プットオプション付のCBはオプションの権利行使日を償還日として算出しています。

※(為替ヘッジなし)は原則として、対円での為替ヘッジは行いません。米ドル建て以外の転換社債に投資を行う場合は、原則として、対米ドルでの為替予約取引を行うため、米ドルと円との間の為替変動の影響を受けます。

※最終利回りは当ファンドの信託報酬等のコスト控除前。

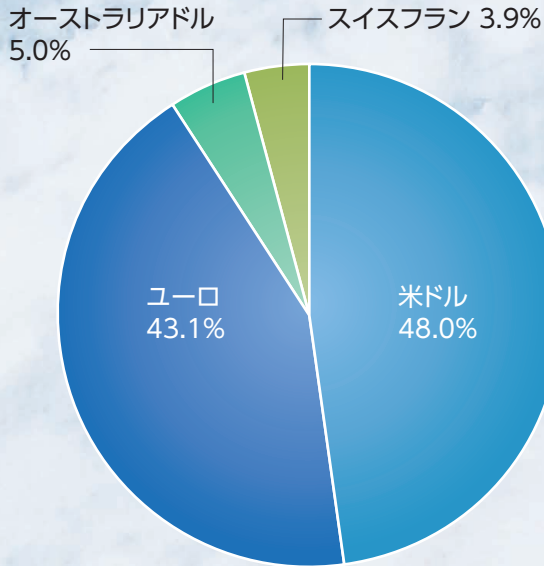
※想定為替ヘッジコストは2023年7月6日時点の想定値であり、実際の為替ヘッジコストとは異なります。

出所：RBCグローバル・アセット・マネジメント、Bloomberg

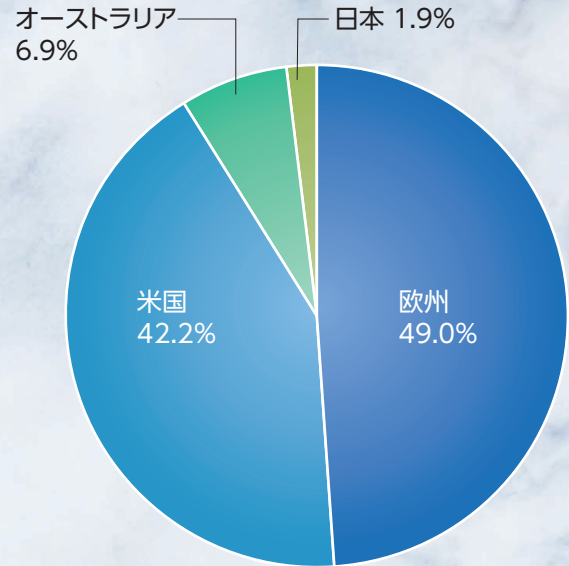
モデルポートフォリオ②

下記は2023年7月6日時点のモデルポートフォリオであり、実際のポートフォリオを表すものではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

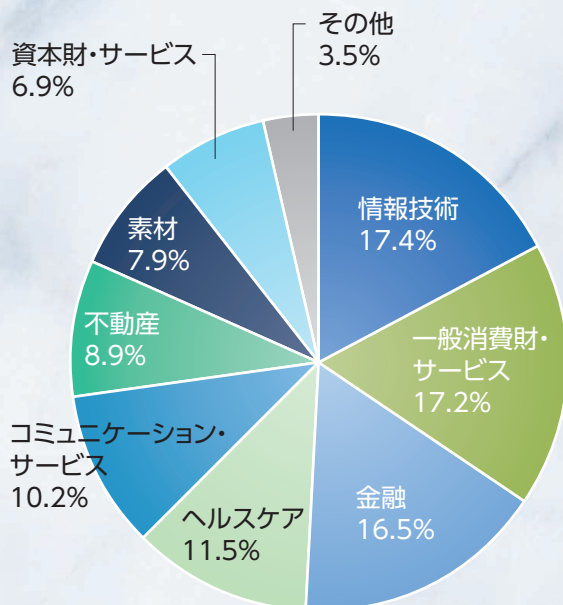
通貨別構成比率



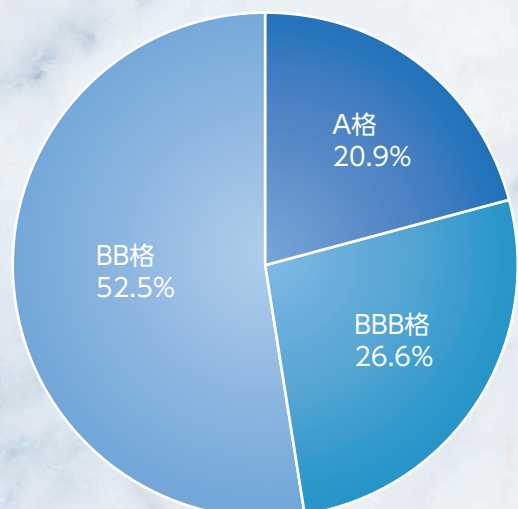
国・地域別構成比率



業種別構成比率



格付け別構成比率



※国・地域はRBCグローバル・アセット・マネジメントによる定義。

※業種はGICS(世界産業分類基準)による分類。

※格付けは基準日時点のモデルポートフォリオを構成するCBに係る信用格付け(S&P、Moody'sのうち低い方の格付け)、外部格付けが付与されていない場合はRBCグローバル・アセット・マネジメントが独自に判断した格付けを使用。なお、付加記号(+、一等)を省略し表示しています。

出所：RBCグローバル・アセット・マネジメント

モデルポートフォリオ構成銘柄のご紹介

下記は2023年7月6日時点のモデルポートフォリオにおける構成銘柄のご紹介を目的としたものであり、必ずしも当ファンドに組入れられるとは限りません。また、記載銘柄の推奨および個別銘柄の売買の推奨を行うものではありません。

テラドック・ヘルス

- テラドック・ヘルスは、米国に本拠を置く医療サービス企業です。
- 日常的な症状に対し、電話やオンラインを通じ診断、療法助言、および処方を提供する事業を世界各国で展開しています。

国・地域	米国	クーポン	1.25%
業種	ヘルスケア	最終利回り	7.45%
格付け	BB	償還日	2027年6月1日



デクサス

- デクサスは、オーストラリアに本拠を置く不動産企業です。
- オーストラリアとニュージーランドにおいて、オフィス・工業用建物、ショッピングセンター、駐車場など、多角的な不動産ポートフォリオの運用を行っています。

国・地域	オーストラリア	クーポン	2.30%
業種	不動産	最終利回り	8.47%
格付け	A-	償還日	2024年3月19日



プーマ

- プーマは、ドイツに本拠を置くスポーツ用品メーカーです。
- 世界各国で事業を展開し、衣料品やアクセサリーのデザイン、製造、販売を手掛けています。

国・地域	ドイツ	クーポン	0.00%
業種	一般消費財・サービス	最終利回り	6.00%
格付け	BBB+	償還日	2025年6月25日



※国・地域はRBCグローバル・アセット・マネジメントによる定義。

※業種はGICS(世界産業分類基準)による分類。

※格付けはS&P、Moody'sのうち低い方の格付け、外部格付けが付与されていない場合はRBCグローバル・アセット・マネジメントが独自に判断した格付け。

※デクサス、プーマの最終利回りは米ドルヘッジ後の利回り、テラドック・ヘルスの最終利回りは米ドル建ての利回り。

※デクサスの償還日はプットオプションの権利行使日。

出所: Bloomberg、RBCグローバル・アセット・マネジメント

RBCグローバル・アセット・ マネジメント(UK)リミテッドについて

- 当ファンドの運用にあたっては、RBCグローバル・アセット・マネジメント(UK)リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。
- RBCグローバル・アセット・マネジメント(UK)リミテッドはカナダの大手商業銀行グループであるカナダロイヤル銀行(RBC)傘下の運用会社であり、債券のアクティブ運用を行うスペシャリストです。

【RBCグローバル・アセット・マネジメント(UK)リミテッドの概要】



英国ロンドンの本社ビル



**RBC BlueBay
Asset Management**

従業員数	467名
運用資産残高	約697億米ドル(約9.7兆円)

※2023年5月末時点。運用資産残高は1米ドル=139.72円で円換算。

出所:RBCグローバル・アセット・マネジメント

1

主として、日本を含む先進国※¹の転換社債※²に投資を行います。

※¹ 先進国の定義は、IMF(国際通貨基金)が定義する先進国・地域の全部または一部、その他、運用委託先であるRBCグローバル・アセット・マネジメント(UK)リミテッドがこれに準ずると判断する国・地域とします。

※² 株式等に転換できる権利のついた社債をいいます。

- 原則として、信託期間内に償還を迎える転換社債に投資し、償還日まで保有することを基本とします。ただし、信用リスク等の観点から、当該償還日前に、保有する転換社債を売却する場合や信託期間内に償還を迎えない転換社債に投資する場合があります。
また、組入れた転換社債がファンドの償還日以前に償還された場合、その償還金をもって、他の転換社債や普通社債、国債、短期金融商品等に再投資を行うことがあります。
- プットオプション付転換社債については、オプションの権利行使日を転換社債の償還日とみなすことがあります。プットオプション付転換社債とは、通常の償還日とは別に、転換社債の保有者が満期前に償還を請求できる権利(プットオプション)が付与されているものをいいます。
- 転換社債の実質組入比率は、原則として高位を基本とします。ただし、信託期間の終了に近づいた時期においては、現金や、短期国債等の短期金融商品への投資比率が高まる場合があります。

2

転換社債への投資にあたっては、投資地域の分散をはかりながら、価格水準、発行企業の財務内容等を考慮しつつ、信用リスクと比較して相対的に最終利回りが高いと判断する銘柄を中心に投資します。

- 信用格付※³が投資適格(BBB格相当)未満の銘柄への投資も行います。ただし、取得時において信用格付がBB-格相当未満の銘柄には投資を行いません。

※³ 信用格付については、運用委託先であるRBCグローバル・アセット・マネジメント(UK)リミテッドにおける社内格付を使用する場合があります。

- マザーファンドにおける転換社債等の運用指図に関する権限をRBCグローバル・アセット・マネジメント(UK)リミテッドに委託します。

※マザーファンドについては、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの仕組み」をご参照ください。

3

「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」があります。

為替ヘッジあり

原則として、対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクを低減する運用を行います。

為替ヘッジなし

原則として、対円での為替ヘッジは行いません。
米ドル建て以外の転換社債に投資を行う場合は、原則として、対米ドルでの為替予約取引を行うため、米ドルと円との間の為替変動の影響を受けます。

4

当ファンドは限定追加型です。

購入のお申込みは2023年9月29日までの間に限定して受付けます。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

ファンドの主なリスクと留意点

基準価額の変動要因

くわしくは、投資信託説明書(交付目論見書)および目論見書補完書面にて必ずご確認ください。

各ファンドの基準価額は、組入れられる有価証券等の値動き等による影響を受けますが、これらの運用による損益はすべて投資者の皆様様に帰属いたします。したがって、投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金とは異なります。

●各ファンドの主なリスクは以下のとおりです。

※基準価額の変動要因は、以下に限定されるものではありません。

価格変動リスク	転換社債の価格は、転換の対象となる株式等の価格変動、発行体の財務状態等の変化、国内外の政治・経済情勢、市場金利動向等の影響を受けて変動します。また、発行体の株式の価格が転換価格に近いときまたは上回っているときに、当該株式の価格変動の影響を受けやすくなります。組入れている転換社債の価格の下落は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。
為替変動リスク	●為替ヘッジあり 原則として、外貨建資産に対して、対円での為替ヘッジを行います。また、発行体の株式の価格が転換価格に近いときまたは上回っているときに、当該株式の価格変動の影響を受けやすくなります。組入れている転換社債の価格の下落は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。 ●為替ヘッジなし 外貨建資産の価格は、当該外貨と円との間の為替レートの変動の影響を受けて変動します。ただし、米ドル建て以外の転換社債に投資を行う場合は、原則として、対米ドルでの為替予約取引を行うため、米ドルと円との間の為替レートの変動の影響を受けることとなります。 為替レートは、各国の政治・経済情勢、外国為替市場の需給、金利変動その他の要因により、短期間に大幅に変動することがあります。当該外貨の為替レートが、円高になった場合は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。
信用リスク	転換社債の価格は、発行体の財務状態、経営、業績等の悪化及びそれらに関する外部評価の悪化等により下落することがあります。組入れている転換社債の価格の下落は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。 また、発行体の倒産や債務不履行等の場合は、転換社債の価値がなくなることもあり、ファンドの基準価額が大きく下落する場合があります。
流動性リスク	国内外の政治・経済情勢の急変、天災地変、発行体の財務状態の悪化等により、有価証券等の取引量が減少することがあります。この場合、ファンドにとって最適な時期や価格で、有価証券等を売買できないことがあり、ファンドの基準価額が下落する要因となります。 また、取引量の著しい減少や取引停止の場合には、有価証券等の売買ができなかったり、想定外に不利な価格での売買となり、ファンドの基準価額が大きく下落する場合があります。

その他の留意点

- クーリングオフ制度(金融商品取引法第37条の6)の適用はありません。
- 大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、ファンドの基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込の受付が中止となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。
- 収益分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、収益分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。収益分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。投資者のファンドの購入価額によっては、収益分配金の一部又は全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、収益分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。
- マザーファンドに投資する別のベビーファンドの追加設定・解約等により、当該マザーファンドにおいて売買等が生じた場合等には、当ファンドの基準価額が影響を受ける場合があります。

一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。

お申込みメモ

くわしくは、投資信託説明書(交付目論見書)および目論見書補完書面にて必ずご確認ください。

購入の 申込期間	当初申込期間 2023年8月14日から2023年9月15日まで 継続申込期間 2023年9月19日から2023年9月29日まで ※2023年9月30日以降のお申込みは受付けません。
購入単位	販売会社が定める単位 ※詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。
購入価額	当初申込期間 1口あたり1円 継続申込期間 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社が定める単位 ※詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。
換金価額	換金請求受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した額
換金代金	換金請求受付日から起算して、原則として7営業日目からお支払いします。
申込不可日	・ニューヨーク証券取引所、ロンドン証券取引所の休業日 ・ニューヨークの銀行、ロンドンの銀行の休業日 ・12月24日
信託期間	2027年12月22日まで(設定日 2023年9月19日) ※委託会社は、信託約款の規定に基づき、信託期間を延長することができます。
決算日	原則、9月19日(休業日の場合は翌営業日) ※初回決算日は、2024年9月19日です。
収益分配	毎決算時(年1回)、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。 ※分配金を受取る一般コースと、分配金を再投資する自動けいぞく投資コースがあります。販売会社によっては、どちらか一方のみのお取扱いとなる場合があります。各コースのお取扱いにつきましては、販売会社までお問い合わせください。 ※分配対象収益が少額の場合は分配を行わないことがあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA(ニーサ)」の適用対象です。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。

お客さまにご負担いただく手数料等について

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に 3.3%(税抜3.0%) を上限として販売会社が定めた手数料率を乗じた額です。 ※詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。
信託財産留保額	換金請求受付日の翌営業日の基準価額に 0.5% を乗じた額です。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	各ファンドの日々の純資産総額に対して 年率1.133%(税抜1.03%) を乗じた額です。 運用管理費用(信託報酬)は、毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに、各ファンドから支払われます。
その他の費用・ 手数料	以下の費用・手数料等が、ファンドから支払われます。 ・監査費用 ・売買委託手数料 ・外国における資産の保管等に要する費用 ・マザーファンドの換金に伴う信託財産留保額 ・信託財産に関する租税 等 ※上記の費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

● 当該手数料等の合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間、売買金額等に応じて異なりますので、表示することができません。

ファンドの委託会社およびその他の関係法人の概況

委託会社	SOMPOアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者(登録番号:関東財務局長(金商)第351号)であり、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。信託財産の運用指図等を行います。 電話: 0120-69-5432(受付時間:営業日の午前9時から午後5時) ホームページ・アドレス: https://www.sompo-am.co.jp/
受託会社	三菱 UFJ 信託銀行株式会社 信託財産の保管等を行います。
販売会社	受益権の募集の取扱、販売、一部解約の実行の請求の受付、収益分配金の再投資ならびに収益分配金、償還金および一部解約金の支払等を行います。投資信託説明書(交付目論見書)および目論見書補完書面の提供は、販売会社において行います。

※FTSEのインデックスはFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

※ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社(以下「ブルームバーグ」)またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。



SOMPOアセットマネジメント

安心・安全・健康のテーマパーク

当資料はSOMPOアセットマネジメント株式会社(以下、弊社)により作成された販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。投資信託は金融機関の預金と異なりリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本、分配金の保証はありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。当資料は弊社が信頼できると判断した各種情報に基づいて作成されておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。当資料に記載された意見等は予告なしに変更する場合があります。また、将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。投資信託の設定・運用は委託会社が行います。お申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)および目論見書補完書面をあらかじめまたは同時にお渡ししますので、詳細をご確認の上、お客さま自身でご判断ください。なお、お客さまへの投資信託説明書(交付目論見書)および目論見書補完書面の提供は、販売会社において行います。